



ボゴール目標の評価 APEC首脳へのABACの主要なメッセージ

ボゴール目標はAPEC地域のビジネスに有益な結果をもたらした

ABACは、ボゴール目標は1994年の制定時において画期的かつ意欲的なものであったと認識する。ボゴール目標の基本理念はAPEC各国・地域にいくつかの著しく有益な結果をもたらした。

ABACによる、ボゴール目標への進捗状況評価は、多くの参加国・地域が1994年以降、大幅に開放されたことをはっきりと認めている。2010年が達成期限となっている先進国・地域では、より自由で開かれた経済になる為の重要な進展があった。2020年がボゴール目標の達成期限である途上国・地域も、同様により開かれた状態となった。さらに、現在APEC域内に存在する拘束力を持つ自由貿易協定の多くも、APECによる自由貿易や地域協力の追及がなければ実現していなかったと考えられる。

故にABACは、ボゴール目標の導入以降、APEC域内のサプライチェーンやバリューチェーンにおけるビジネス環境改善に重要な進展があった事を認識する。

強力なビジネスの成長には統合の深化における障害を排除する新たな努力が必要

世界経済は1994年以降大きく進化しており、ボゴール目標のスケジュールに沿った地域経済統合の深化を推進するためのより高度な努力が必要である。APEC域内における自由で開かれた貿易と投資を実現する為にさらにやらなければならないことがある。それは物品の貿易、サービス、投資、アイデア、及び人の移動を網羅する必要がある。貿易と投資の円滑化もまた、経済成長を推し進めるために必須の手段である。これを念頭に置き、ABACは以下の提言を行う。

提言-1

ABACは、首脳がAPEC域内の自由で開かれた貿易の実現に再度コミットすべきと提言する。過去16年間のAPEC域内での経済や社会構造の根本的な変化と、我々がポスト産業化・革新的経済成長の段階にあるという事実を考慮し、ABACは、近年のアジア太平洋地域のサプライチェーン及びバリューチェーンの変化しつつある本質を反映した、ボゴール目標に基づいた次のビジョンが必要であると提言する。このビジョンは物品の流れ、サービス、投資、技術、電子商取引、人の流れの自由化を追求するものであるべきであり、また、均衡あるあまねく広がる成長と持続可能な発展に重点を置くものである。

提言-2

ABACは首脳に対し、FTAAPはアジア太平洋地域において自由で開かれた貿易と投資を実現する為の野心的だが実現可能な手段である事で意見を一にすることを推奨する。昨年首脳への提言に続き、ABACは閣僚らに対し、FTAAPの実現に向け、ビジネス界が積極的に関与することが可能となるよう、より詳細な取り決めや手順の設定を求めている。

提言-3

ABACは首脳らに対し既存の、或いは交渉中の地域貿易協定、たとえばTPP、ASEAN+1、ASEAN+3、ASEAN+6/CEPEA等が、FTAAP実現に向けた可能性のある筋道として重要であることを認識するよう推奨する。これらの既存の協定の進化に伴い、物品、サービス、投資やその他の新たなビジネス界の要請を網羅した、以前制定されたAPEC FTAモデル章を活用すべきである。ABACは、地域の枠組みの進化に関わる各国・地域の首脳が、担当官僚に対し、交渉のセンシティブティに配慮しつつも可能な限り時宜を得つつ包み隠すことなく交渉についての知識や内容の共有を図ることを指示するよう要請する。

提言-4

ABACはAPECの新たなビジョンの策定に際し、ビジネス界が緊密に関与し、施政者がビジネスリーダー達の専門性を活用し、現実的な発想を確認し、実行可能な解決策を提案できるようにする事を提案する。ABACはSOMとABACの間の連携をより明確化、緊密化させることを提案する。

提言-5

ボゴール目標や新たなビジョン実現の一環として、ABACは、首脳らがAPEC事務局に対し「地域統合評価指標」を策定し、各国・地域のより広範囲な地域経済統合や包括的成長に向けた進捗状況を測るよう指示することを提案する。かかる指標は遂行状況のベンチマーキングと首脳らが説明責任を果たすために必須である。ABACは各国・地域毎に1ページずつ「地域統合ダッシュボード（進捗状況表）」を作成し、物品、サービス、投資、技術、人のフローを含み、これに留まらない各種自由化の指標のレベル、推移を示すことを提案する。